

仲間の仕事とくらしをまもり 安定した仕事と賃金確保のために



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>
印刷部数110900部(購読料は組合費に含まれています)
年間購読料1800円(定価50円)

東京都新宿区北新宿1-8-16
東京土建一般労働組合
電話 03(5332)3971(代表)
FAX 03(5332)3972

発行人・編集人
三木 勉

夏のとりくみで仲間の絆を深め、 さらに強く大きな組合に

仲間のみなさん！

4月から5月にかけて取り組まれた春の拡大月間で、多くの新しい仲間が組合に加入しました。6月から8月にかけては「仲間のつながり夏の一大運動」として、「土建タイムス」「事業所セットファイル」等で事業所との対話・相談をひろげ、「分会のレクリエーション活動」等で仲間の交流と絆を深め、支部版分会経験交流集会などで分会間の経験や教訓を学びあう取り組みが広がりました。

一方で昨年4月が期限だった社会保険未加入対策によって、社会保険に加入したものの、その原資(法定福利費)が充分にもらえていないところもまだまだ存在しているのが実態です。法定福利費確保、また賃金・単価の引き上げや仕事確保の運動には、たくさんの仲間の参加と協力が大切で、組合がもっと大きくなる必要があります。

9月から10月にかけて「秋の拡大月間(仲間づくり運動)」が取り組まれます。今から組合員と家族が「集まり」「つながる」とりくみを強め、全世代の仲間の参加・協力で、分会群を強く大きくしていきましょう。

どうして仲間を増やすの？ 秋の拡大月間の意義(要約)

- ①賃金・単価の引き上げや仕事確保、安全に働ける現場を実現するための運動をすすめる。みんなが集まりみんなが考え実行する分会・群づくりを進める月間。
- ②平和と憲法を守り社会保障の充実をめざすための運動をすすめる。仲間の「命の綱」土建国保を守り育成強化するための月間。
- ③多くの建設産業従事者を組合に迎え入れ、組合員が主人公の諸活動を前進させ、要求実現に向けた運動の前進と強大な組織をつくり、12万人の東京土建を展望し1%以上の組織人員実増を可能にする月間。

仲間のみなさんに訴えます

みんなの力を集めてこそ拡大運動は成功します。

分会群の役員に「あなたにできること」を教えてください。

- 組合に入っていない仲間を紹介してください。
- 組合に入っていない仲間に「東京土建いいよ」とすすめてください。
- 現場で知り合った未加入者に組合のパンフレットを渡してください。
- 東京土建のホームページを見て話題にしてください。
- 分会のとりくみ(住宅デー・レクリエーション・BBQ大会)に誘い合って参加してください。
- 自宅や事務所に立看板を設置したり、ポスターを貼ってください。
- チラシ配布に協力してください。
- 分会センターに集まって拡大行動に参加してください。
- その他どんなことでも。

● 事業主のみなさんをお願いします ●

「土建タイムス」の 貼り出し行動に ご協力ください。

組合では支部・分会の役員と書記局が、順次、組合内の事業所を訪問して「土建タイムス(電中吊り風の組合案内版)」の貼り出しをお願いしています。

「土建タイムス」を貼り出し、組合の業務や取り組みを視覚化し、興味を持っていただくことで、従業員のみなさんに申請し忘れていた共同作業などが自己チェックしていただくことや、業界・現場の状況・環境などにも関心を持っていただくことにもつながります。

9月には「土建タイムス2号」も発行されます。

役員がお願いに訪問した際には、ぜひご協力をお願いいたします。



東京土建が運営する職業能力開発短期大学校

東京建築カレッジで、技術・技能と知識を身につけよう

第24期生の募集が開始されます

東京土建が運営する学校、東京建築カレッジの第24期生(2019年4月入学生)の募集がスタートします。入学選考会は全4回、下記のとおりです。これに向けた学校説明会をおこないます。入学を希望する本人はもちろん、若手を採用・育成したい事業主も大歓迎です。どうしたら新規入職者を獲得・育成できるのか、率直に語り合いたいと思います。相談にも応じます。



伝統構法と在来構法による2階建て木造住宅づくりに挑戦。全国的にも珍しい教育実践です。(22期生の実習棟上棟記念写真より)

募集日程

	第1回募集	第2回募集	第3回募集	第4回募集
学校説明会	8月29日(水)	10月14日(日)	11月21日(水)	1月23日(水)
応募締切	9月6日(木)	10月24日(水)	11月29日(木)	1月31日(木)
入学選考会(試験)	9月12日(水)	10月28日(日)	12月5日(水)	2月6日(水)
結果発表	9月14日(金)	10月30日(火)	12月7日(金)	2月8日(金)

※学校説明会の開始時刻は①午後2時から②午後7時からの2回。所要時間は1時間30分程度です。(ただし10月14日は午後2時のみです)
 ※入学選考会(試験)は、午前9時30分から午後4時ですが、終了は変更の可能性があります。※いずれも会場は池袋校舎となります。
 ※入学時年齢が35歳以上の方と、従業員300人以上の事業所に従事している方の試験は第4回選考会となります。

全ての支部からカレッジ生を！

技術対策だけではなく、後継者対策や事業所対策と位置づけ、各支部1人以上の応募者を確保しましょう。学校説明会では、カレッジ生を何としても確保したい支部の役員や書記の方々も積極的にご参加ください。一緒に考えましょう。

カレッジの授業を二部紹介します

建築カレッジは「日本における建築の基本は木造建築にある」という考え方のもと、伝統的な大工技術を通して建築の基礎を学ぶことを重視しています。人と自然にやさしい木造建築の出番は、これから一層広がります。独自のカリキュラムは多彩で貴重なものばかりです。大工以外の専門職の方々にも大変好評です。その一部をご紹介します。

規矩(きく)術を学ぶ
 正確で美しいものづくりを可能にする規矩術。「数えてこんな役に立つのか」そんな声が聞こえそうです。知的刺激あふれる授業です。



6月22日「木造工作法」橋本英夫講師

ミネラルウォーターの硬度を調べる
 「建築環境演習Ⅰ」。6月23日の授業では「ミネラルウォーターの硬度を調べる」「水道水にジュースを入れてCOD(化学的酸素要求量・水質汚濁の指標の一つ)を習得」という実験をおこないました。自然環境問題を体験型で学んでいきます。



座学も体験型が中心

埼玉県飯能市での林業体験

6月23日、林業実習として杉の苗木の下草刈りを体験しました。実習先の埼玉県・西川材産地では、設計・施工者とも連携した市場創造型のとりにくみが進んでいます。その中心人物、飯能市の林業家、井上淳治さん(「木楽里」代表)から「木の家づくりに携わる君たちにこそ、木の魅力を語る人になつてほしい」と激励されました。



ゆたかな森林資源を活かす暮らしの在り方も考えさせられる。

受入れ事業所大募集!

若手の確保と育成は今、建設事業主の共通の関心事です。悩んでいる事業所はたくさんあります。視野を広げて未加入事業所へも働きかけ、要求の掘り起こしもおこなひましょう。カレッジに新人を研修派遣している中小事業主は「早期離職防止に役立つ。同世代の仲間ができるのが一番いい」「現場ではなかなか手ほどきできない道具の使い方、建築の基礎知識を教えてもらえる」と話しています。参考事例等についてはお気軽に建築カレッジまでお問い合わせください。

無料職業紹介所も開設

東京建築カレッジ(小林謙二学長)では、「建築カレッジにいたい」「ここで学びたい」と願うすべての人に対して、カレッジへの通学(職業訓練)を保障し、OJT(現場実習)の役割も果たす就職先を多数揃え、職種や居住地ごとについても紹介できるようにしたいと考え、今年1月に無料職業紹介所を開設しました。建築カレッジ、東京土建各支部と一緒、新規入職者募集の行動に立ち上がる事業所を大募集中です。詳しくはカレッジにお問い合わせください。電話0359501771



研修生派遣事業主になれば事業主同士の学習や交流も... (6月のカレッジ事業主総会後の懇親会。左は研修会で講演した相羽建設相羽健太郎社長)

健診・個別健康サポートで仲間のいのちと健康を守りましょう

健診は病気の早期発見・早期治療のために大切です。健診を受けることで重い症状になる前に身体の変化に気づき、予防につながります。2017年度の実績では、生活習慣関連疾患の一人当たり医療費(年間)は、健診未受診者の場合30万8千円と健診受診者より13万3千円も高くなっています。健診の受診は、土建国保の医療費を減らし、保険料の引き上げをおさえることにもつながります。是非、健診を受診しましょう。
 (個別健康サポートを終了した人にはクオカード3000円分贈呈)

生活まるごと安心パック

- 火災共済** 日本一安い掛け金。火災のときの住宅再建費用を保障。落雷や自然災害も。
- 地震共済** 火災共済のオプション。火災共済では保障できない地震による倒壊や火災も保障。
- 自転車保険** 家族全員の自転車事故での被害はもちろん、加害者になった時の賠償や物損にも対応。また単身者向けの料金設定もあります。
- 自動車共済** 掛け金が割安で補償も充実。業務用・法人名義でも加入できます。

【抽選で旅行券やお米が当たるキャンペーン】 2018年1月時点で在籍し、上記4制度のうち3制度を利用している仲間の中から抽選を行います。